

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	すずむしの里 教育旅行ファームステイ誘致促進事業
事業主体 (連絡先)	安曇野松川村農家民宿連絡協議会 (連絡先：0261-62-3109)
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,522,500 円 (うち支援金： 1,215,000 円)

事業内容

安曇野松川村農家民宿連絡協議会では、農業と観光を結びつけた新たな地域振興策として、関東及び関西方面の都市部の学校を対象に、修学旅行での農業体験及び宿泊体験を提供する「農家民泊（ファームステイ事業）」を押し進めている。

このような取り組みを学校側や旅行会社等に広く知ってもらうために、実際の農家民泊体験の映像を中心としたDVD付きパンフレットを制作し、配布・紹介することで、農家民泊の受け入れ増加を目指す。



【農作業体験の様子】

※1 自己評価（事業実施率）【 A 】

事業効果

制作したDVD付きパンフレットを、11月～2月にかけて、関東及び関西方面で催される旅行商品造成商談会等で旅行会社に配布・紹介することで、松川村の農家民泊を大いにPRすることができた。

また、2月17日に行った農家民宿開業希望者向けの説明会にて、このDVDを活用したことで農家民泊の取組内容を視覚的にわかりやすく伝えることができたため、今後の受け入れ農家の拡充・育成にも大きく貢献することが期待できる。

【目標・ねらい】

- 都市と農村との交流促進（ファームステイ誘致促進）
- 農業農村資源の活用と観光連携
- 村及び周辺地域のPR
- 受け入れ農家の拡充と育成

※2 自己評価（事業効果）【 B 】

今後の取り組み

今後もDVD付きパンフレットを全国各地の商談会等で配布・紹介し、平成27年度以降の受け入れに結びつけられるよう、都市部の学校・旅行会社に積極的にPRしていきたい。

また今後の取組の一つとして、H26年度の支援金事業を活用し、農家民泊オリジナルのお土産用袋や屋号を表示する看板類を制作予定。今後も子供達にとって良い思い出に残るような体験内容にしていきたい。

※1 自己評価（事業実施率）欄は、「A」90%以上、「B」70～89%、「C」50～69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価（事業効果）欄は、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある